

情報公開文書

研究課題名	遠隔皮弁による母指内転拘縮解除例の検討
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>形成外科</u> 氏名 <u>金城 勇人</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ~ 2021年 7月
研究の概要	(研究の意義・目的) 外傷性母指内転拘縮を外科的に治療した際の改善角度、第一指間の深さに寄与する要因の検討を行います。  (研究方法) 診療録、症例写真、X線写真を用いた後ろ向き研究を行います。
試料・情報	(試料・情報の項目) 診療録、症例写真、X線写真
研究対象者	1996年から2017年に当院で外傷性母指内転拘縮を外科的に治療した患者 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>形成外科</u> 氏名 <u>金城 勇人</u>  TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439